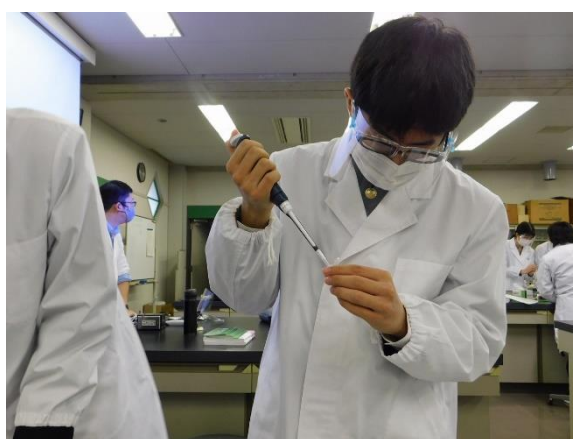


サイエンスゼミ(生物ゼミ)

今回は、ニュース等によく取り上げられる PCR 検査をテーマとし、実験を通してその現象や技術の基本にある理論を学びました。また先端科学に触れ、研究者に指導を受ける中で研究への興味関心を高めることを目的として実施しました。

- 1 日時 令和2年12月12日(土) 9:00～ 15:30
- 2 場所 福井県立大学生物資源学部
- 3 講師 福井県立大学生物資源学部 教授 濱野 吉十 氏
准教授 丸山 千登勢氏 他 TA 2名
- 4 対象 本校1, 2年生 24名
- 5 内容 ・PCRによる微生物の同定 ・グラム染色による微生物の分類
・抗生物質の抗菌作用について ・微生物の作り出す化学物質について



6 参加生徒の感想

- ・今回の講座では、最近よくテレビなどでも耳にする PCR を用いた実験ということでとても興味を持ちました。ニュースなどで見る実験器具がどのように使われているのかをこの実験を通して知ることができ感動しました。
- ・大学で最先端の機器を使わせていただき、1日かけて実験に取り組むという普段の授業では体験できない貴重な講義に参加することができてより深く調べてみたいという興味がわきました。PCR 実験では初めて使う実験器具が多く、不安だったけど、大学の先生方や大学生の方が丁寧に教えてくださったので成功させることができました。
- ・今まで医薬品というのは人工物がほとんどだと思っていたけれど、微生物が作り出しているものが多くを占めていることを知り、驚きました。人間は自然にはかなわないし、微生物の働きはまだ未知のものが多いと知り、とても魅力的な存在だと思いました。このような分野で自分の手で新しいことを見つけるのもとても楽しそうだなと思いました。
- ・今回のゼミではミクロの最先端の研究を行っている方々の話を聞くことができ、マクロな視点の分野に興味があったけれど、農芸化学の分野も面白いと思うようになりました。